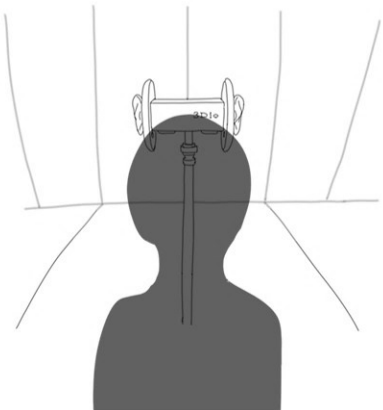




1

「王子 入るわよ」

//母親・正面遠くで話します(扉越し)

//SE 手コキする粘液音 止まる

//SE 扉を開ける音

//SE 急いで布団をかぶる布音

//SE 入る際の服の布音

//SE 部屋に入る足音(部屋も絨毯)

//■トラック1

//BGM 春のお昼の音

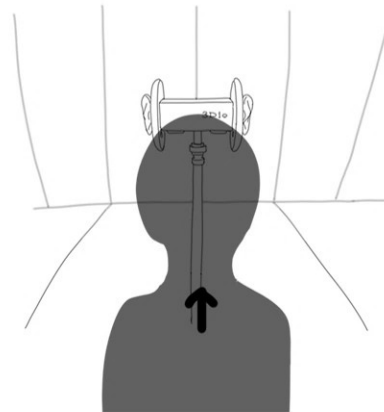
//SE ゆっくりと手コキする粘液音

//SE 手コキに合わせたベットの布音

//効果音のみ10秒程度

//SE 母親の絨毯の廊下を歩く足音が
近寄ってくる

//SE 扉をノックする音



1

//母親・正面少し遠くへ移動しながら
話します

「んう？ どうしたの そんなに慌てて」

//間3秒

2

//母親・正面少し遠くで話します

「ふう…王子

あなた…どうせまた…」

//SE 男性の前まで移動する足音

//SE 移動の際の布音

//母親・正面近くに移動しながら
話します

3

「無駄よ(移動)

その毛布をどかしなさい」

//SE モゾつく男性の布音

//母親・正面近くで話します

「イヤ…じゃないでしょ

何もやましいことがないなら
問題ないはずよ」

4

//SE 布団をひっぱる布音

//SE 引っ張る際の足音

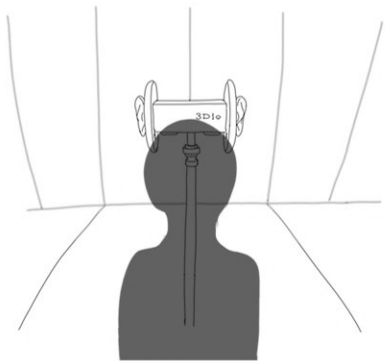
//母親・正面近くで話します

「言うことを聞かないなら

んっ(毛布をひっぱる)…

無理やりにでも…んんっ…ぐうっ」

5



//SE 毛布を取る音

//SE 男性がもぞつく布音

//母親・正面近くで話します

「ああ…やっぱり

王子…あなたなんて格好をしているの
下だけ何もはいてないじゃない」

//SE 毛布を置く布音

//母親・正面近くで話します

「王子ともあろう者が

こんな風におちんちんを放り出して…
みっともない」

//SE 布団の上でもぞつく布音

//母親・正面近くで話します

「それに（二度そつぽをむく）
そばに置いてある

大量のティッシュは何かしら？」

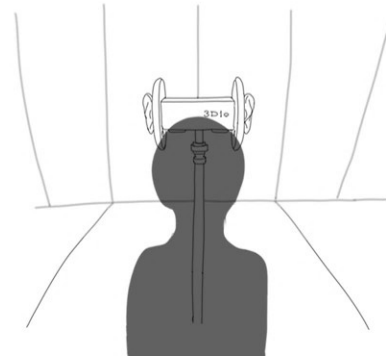
//SE モゾつく布音

//母親・正面近くで話します

「何でもないわけないでしょ」

//母親・正面近くで話します

5 「はあ…昼間から王子が自慰行為なんて…
みっともないことをしては
いけませんよ」



1

／＼母親・正面近くで話します
「それにこんなこと

今日が初めてではないでしょ？
まさかバレていないとでも思ったの」

／SE 男性がもぞつく布音

2

／＼母親・正面近くで話します
「ふふ…あら…意外そうな反応ね
私はあなたの母親よ

王子のことならなんでも知っているわ」

3

／＼母親・正面近くで話します
「王子…あなたももう
年頃の男性にもなったし

そういうことに興味を持つのは
仕方がないことだけど
あなたがしていることは 庶民が
するような最下層の行為なのよ」

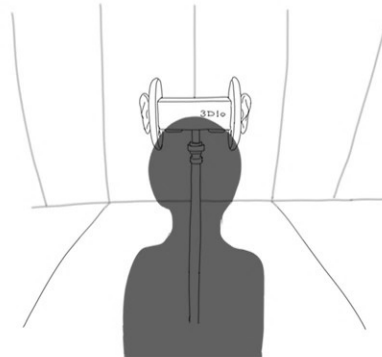
4

／＼母親・正面近くで話します
「少しは立場つてものを
わきまえてほしいわね」

／＼間3秒

5

／＼母親・正面近くで話します
「はあ…まったく まあいいわ…
王子にそんなことをさせないために
わざわざあれを用意したんだから」



1

//母親・正面近くで話します

「ほら そんなところで突っ立ってないで
入ってきなさい(後ろを振り返りながら)」

//SE 驚く際の布音

//チカ・正面遠くで話します

「あ!(驚く) は…はい…」

//SE 歩く際の布音

//SE おそろおそろ部屋に入る足音

//チカ・正面少し近くへ移動しながら

話します

「し…失礼…いたします(移動)」

ん…あの…あの…」

//母親・正面近くで話します

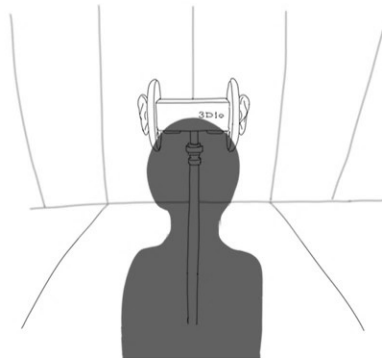
「王子 そろそろあなたにも

下僕を与えておこうと思って
連れてきたの」

//SE チカの肩を叩く布音

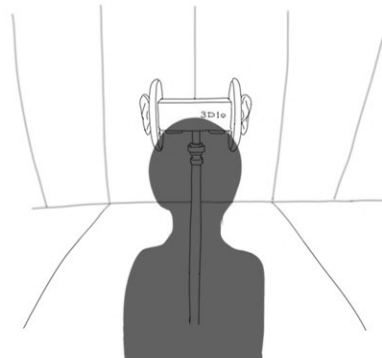
//母親・正面近くで話します

「この子は城で雇ってるメイドの一人娘よ
名前はたしか…チカだったかしら？」



2

3



//SE あたふたする際の布音

//SE 頭を下げる布音

//チカ・正面少し近くで話します

「はっ…はいっ…」

ち…ち…チカと申しますっ(あたふた)

よろしく…おねがします…(頭を下げる)」

//母親・正面近くで話します

「王子？」

これをあなたにあてがっておくから

この下僕を使って性欲を抑えて

おきなさい」

//母親・正面近くで話します

「むらむらしたからといって

決して自慰行為なんて

みっともない行為をしてはだめよ」

//間3秒

//母親・正面近くで話します

「ん？ でもじゃないでしょ？」

ああ…もしかして下僕に不満があるの？」

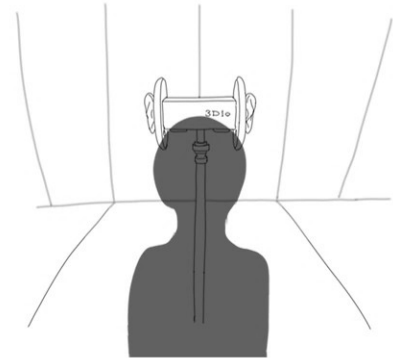
//母親・正面近くで話します

「まあ…見た目は貧相だけど年が近いのは

これくらいしかないかったの

とりあえずこんなのも使えなくはない

から我慢しておきなさい」



1

//母親・正面近くで話します

「また後でもっとマシなのを用意するから」

//SE 頭を下げる布音

//チカ・正面少し近くで話します

「あ…うう…その…」

王子…あの…至らなく…

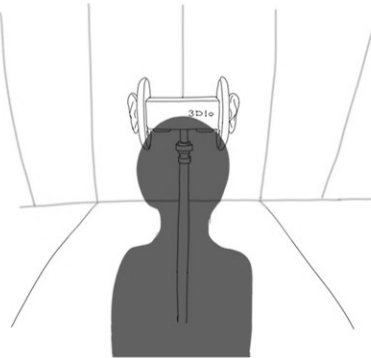
申し訳ありません…(頭を下げる)」

//SE もぞつく布音

//母親・正面近くで話します

「…え？ 下僕なんて初めてだから
どう扱ったらいいかわからない
ですって？」

2



3

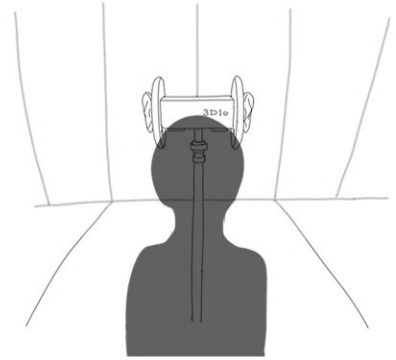
//母親・正面近くで話します

「そんなにかしこまらなくなたっていいのよ
下僕なんて代わりはいくらでも
いるんだから
好きなようにしていいの」

4

//母親・正面近くで話します

「それこそ性欲の赴くままに…ね
日ごろ妄想していることを
この子を使ってやればいいのよ
ね…簡単でしょ？」



1

／＼母親・正面近くで話します
「それに将来この国の王になるなら
下僕の一人や二人は扱えないと
恥ずかしいものね
この子は その練習のコマと思って
くれてもいいわ」

2

／＼母親・正面近くで話します
「どう？ これで不安はなくなった？」

／＼間3秒

3

／＼母親・正面近くで話します
「はあ…まだ緊張しているの
何度も言ってるけどあなたは王子なのよ
下僕相手に緊張してどうするのよ」

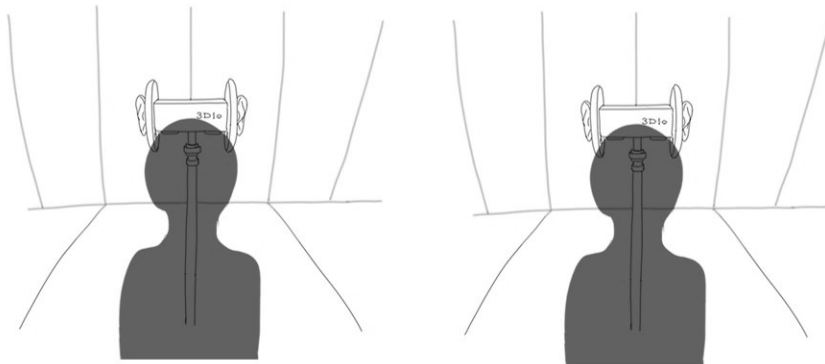
4

／＼母親・正面近くで話します
「人だと思っからそうなるの
下僕なんてモノと一緒によ
ねえ…チカ あなたもそう思うわよね？」

／＼SE スカートの袖を掴み
もじもじする布音

5

／＼チカ・正面少し近くで話します
「あ…うつ…私はあ…」
／＼母親・正面近くで話します
「なに？ それともあなたは
下僕に分際で人間扱いされたいと
思ってるの？」



//SE 手を振る布音

//SE 頭を下げる布音

//チカ・正面少し近くで話します
「い いえっ…滅相もございませんっ
(手を振る)」

あの…よ…喜んでご奉仕させて
いただきます(頭を下げる)」

//母親・正面近くで話します

「ふふっ…そうよ

間違っても自分の立場を
間違えないように…」

//チカ・正面少し近くで話します

「は…はい」

//母親・正面近くで話します

「それじゃ王子？」

くれぐれもみつともないことは
しないでくださいね」

//母親・正面近くで話します

「下僕はここに置いておくから

あとは好きなように

使ってくれていいわよ

それじゃ…」

//SE 母親が離れる足音

//SE 扉を閉める音

//フェードアウト

// ■トラック5」

//BGM 春のお昼の音

//SE 胸を揉む肌音

／＼チカ・正面間近で小声で囁きます

「んあ…王子…んう はあ

今夜もお呼びいただいて…

うれし…です」

／＼チカ・正面間近で小声で囁きます

「下僕として んう

精一杯…ご奉仕させて…

いただき…んんっ」

//SE 乳首を触る肌音

／＼チカ・正面間近で小声で囁きます

「あん ふう はあ

王子は…胸がお好きなんですネ

んう んっ こんなに小さな胸なのに…」

／＼チカ・正面間近で小声で囁きます

「はい うれしいです んっ はあ

え？ チカですか？

チカが好きなのは…

あ…う…キ キス…です」

／＼チカ・正面間近で小声で囁きます

「王子とキスしている時が とても幸せで…

んう…あの す すみません

下僕なのに生意気なことを言って…」

//SE 抱き付かれる布音

／＼チカ・右耳元へ移動しながら

小声で囁きます

「あっ…(抱きつかれる)

王子…」

//SE キスするために頭を近づける布音

／＼チカ・正面さらに間近へ移動しながら

声を出さずに囁きます

「んんっ ちゅっ ちゅう

じゅるる んっ… 王子…

ちゅ んちゅ んっ んはぁ…」

／＼チカ・正面さらに間近で声を出さずに

囁きます

「ぢゅぷ ちゅ…はい

んちゅ ちゅっ ぢゅっ

好きです…これが

んちゅ ちゅっ ぢゅっ」

／＼チカ・正面さらに間近で声を出さずに

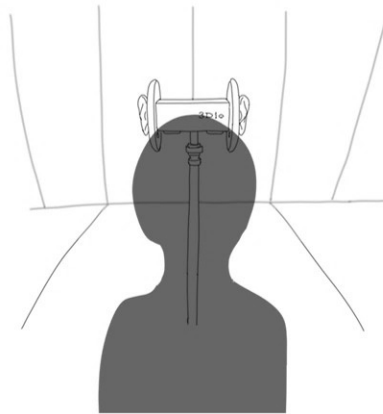
囁きます

「大好きな王子と…はぁ はぁ ぶちゅっ

ぢゅっ んちゅ うっ

王子…好きです…んっ

ぢゅる ちゅ…んはぁ…王子…」



1

//SE 母親とソラが歩いてくる足音

//チカ・正面さらに間近で

声を出さずに囁きます

「んっ ちゅ じゅる

ちゅ ちゅ ちゅぱ んっ んっ

んふっ ちゅ じゅるる」

//BGV チカ・キス1

//SE 扉をノックする音

//母親・正面遠くで話します

「王子？ いますか？

入りますよ？(扉向こう)」

//SE 扉を開ける音

//BGV チカ 停止

//チカ・正面さらに間近で声を出さずに
囁きます

「んちゅ…ぱ ちゅ んちゅ じゅる

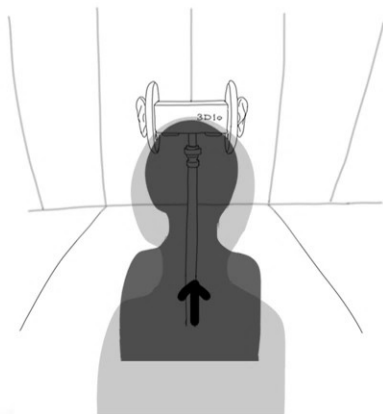
んっ ふう ちゅふう」

//BGV チカ・キス1

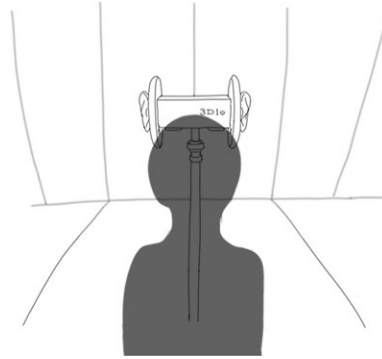
//SE 部屋に入る足音

//母親・正面少し近くで話します

「あら…ずいぶんと気に入っているようね」



2



1

／＼チカ・正面さらに間近で声を出さずに
囁きます

「んちゅ…ぱあ…はあ　はあ…

あ…お…王妃様…」

／＼母親・正面少し近くで話します

「でも　そんな貧相なのじゃ

満足できないでしょう？」

王子のために新しいのを用意したわよ」

／＼母親・正面少し近くで話します

「ほら　入ってきなさい？」

2

／／SE　部屋に入る足音

／／SE　頭を下げる布音

／＼ソラ・正面少し近くで話します

「いきげんよう　王子様

ソラと申します(頭を下げる)」

／＼母親・正面少し近くで話します

「そこにいる下僕とは違って

ソラは隣国のお姫様よ

胸もあるし　その貧相なのよりは

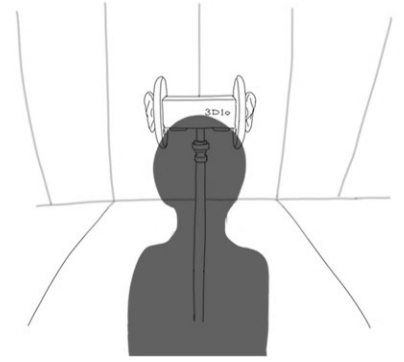
マシでしょう？」

3

／＼チカ・正面さらに間近で声を出さずに

囁きます

「んっ…お姫…さま…(おじけづく)」



1

／／母親・正面少し近くで話します
「どう？」
王子であるあなたに
ふさわしい相手でしょ？」

／／ソラ・正面少し近くで話します
「うふふ」

私も王子様のお相手をできるなんて
光栄ですわ」

／／母親・正面少し近くで話します

「それじゃ 王子

くれぐれもみつともないことは
しないでくださいね」

2

／／母親・正面少し近くで話します

「ソラ 後のことは任せたわよ」

3

／／ソラ・正面少し近くで話します

「はい 王妃様」

／／SE 離れる足音

／／SE 扉を閉める音

／／ソラ・正面少し近くで話します

「お う じ？ んふふー

そんなぼろ雑巾みたいな子は捨てて
さっそくソラと楽しみましょう」